

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 57-183170

(43)Date of publication of application : 11.11.1982

(51)Int.Cl.

H04M 3/54
H04M 3/42

(21)Application number : 56-067982

(71)Applicant : NEC CORP

(22)Date of filing : 06.05.1981

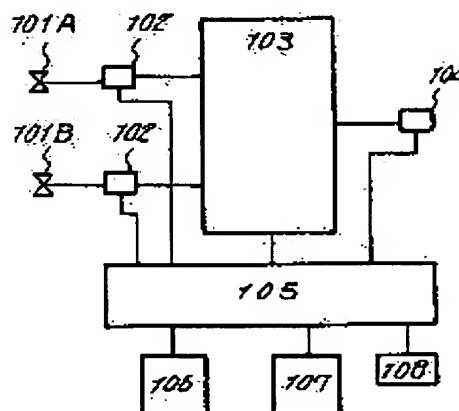
(72)Inventor : MATSUSHITA MINORU

(54) TIME CORRESPONDENCE TRANSFER SYSTEM

(57)Abstract:

PURPOSE: To perform connection with desired subscribers automatically at respective points in time by providing a memory, wherein transfer-destination extension equipment terminal numbers of extension subscribers are stored corresponding to individual number given to respective extension subscribers and to respective points in time.

CONSTITUTION: When an extension subscriber A dials an individual number, time, and an extension number to which a received call is to be transferred at that time, a central controller 105 stores a transfer-destination extension equipment terminal number in memory areas of an individual number information memory 107 which correspond to the individual number and time. On the other hand, when an extension subscriber B dials the number of the extension subscriber A at allotted time, the central controller 105 controls a timerpiece device 108 and the individual number information memory 107 to read the extension equipment terminal number of a transfer-destination extension telephone set, and then controls a main channel switch 103 to connect the extension subscriber B to the transfer-destination extension telephone set.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

⑨ 日本国特許庁 (JP)

⑩ 特許出願公開

⑫ 公開特許公報 (A)

昭57—183170

⑪ Int. Cl.³
H 04 M 3/54
3/42

識別記号

庁内整理番号
7406—5K
7406—5K

⑬ 公開 昭和57年(1982)11月11日

発明の数 1
審査請求 未請求

(全 3 頁)

⑭ 時刻対応転送方式

東京都港区芝五丁目33番1号日
本電気株式会社内

① 特 願 昭56—67982

① 出 願 人 日本電気株式会社

② 出 願 昭56(1981)5月6日

東京都港区芝5丁目33番1号

⑦ 発 明 者 松下稔

④ 代 理 人 弁理士 内原晋

明 細 書

1. 発明の名称

時刻対応転送方式

2. 特許請求の範囲

内線収容端子番号対応に内線電話番号を記憶する内線電話番号情報メモリと、時計装置と、内線加入者にそれぞれ固有の個人番号を付与し個人番号毎に各時刻対応に内線収容端子番号を記憶する個人番号情報メモリとを中央制御装置に接続し、登録時に内線加入者があらかじめ任意の内線電話機から個人番号と時刻とその時刻における転送先内線電話番号をダイヤルすると前記中央制御装置は内線電話番号情報メモリからダイヤルされた転送先内線電話機の内線収容端子番号を索引し次いで個人番号情報メモリ中該当する個人番号メモリブロック内のダイヤルされた時刻に該当するメモリ領域に前記索引された転送先内線収容端子番号を入力する一方、内線加入者が通話したい相手内

線加入者の個人番号をダイヤルしたとき、前記中央制御装置は前記時計装置から時刻を読み出し個人番号情報メモリから個人番号対応で且つ読み出した時刻に対応するメモリ領域から被呼内線加入者の転送先内線収容端子番号を読み出すことにより通話路を接続することを特徴とする時刻対応転送方式。

3. 発明の詳細な説明

本発明は電子式構内電話交換機の時刻対応転送方式に関する。

従来の転送方式では内線加入者が移動するたびに該内線加入者にかかってきた呼が転送先内線電話機に転送されるように転送装置を設定していた。従って転送装置を設定し忘れたり移動のたびに再設定をしなければならないわずらわしさがあった。

本発明の目的は内線加入者に個人番号を付与し該個人番号対応に且つ時刻毎の記憶内容によりあらかじめ一日のスケジュールに合わせて着信呼を転送できるような時刻対応転送方式を提供すること

とにある。

本発明の時刻対応転送方式は内線収容端子番号対応に内線電話番号を記憶する内線電話番号情報メモリと、時計装置と、内線加入者にそれぞれ固有の個人番号を付与し個人番号毎に各時刻対応に内線収容端子番号を記憶する個人番号情報メモリとを中央制御装置に接続し、登録時に内線加入者があらかじめ任意の内線電話機から個人番号と時刻とその時刻における転送先内線電話番号をダイヤルすると前記中央制御装置は内線電話番号情報メモリからダイヤルされた転送先内線電話機の内線収容端子番号を索引し次いで個人番号情報メモリ中該当する個人番号メモリブロック内のダイヤルされた時刻に該当するメモリ領域に前記索引された転送先内線収容端子番号を入力する一方、内線加入者が通話したい相手内線加入者の個人番号をダイヤルしたとき、前記中央制御装置は前記時計装置から時刻を読み出し個人番号情報メモリから個人番号対応で且つ読み出した時刻に対応するメモリ領域から被呼内線加入者の転送先内線収容

端子番号を読み出すことにより通話路を接続することを特徴としている。

要するに、本発明は内線加入者が通話したい相手の個人番号をダイヤルすることにより個人番号情報メモリから該時刻にダイヤルされた個人番号を有する被呼加入者の転送先内線収容端子番号を読み出し通話路を接続するものである。

次に本発明の実施例につき図面を参照して説明する。

第1図は本発明の一実施例を説明する交換機の中継方式図であり、101A、101Bは内線電話機、102はライン回路、103は主通話路スイッチ、104は自局内トランク、105は主通話路スイッチ、106は各種情報メモリおよび時計装置108を制御する中央制御装置、107は内線収容端子番号対応に内線電話番号を記憶する内線電話番号情報メモリ、107は内線加入者にそれぞれ付与した固有の個人番号の時刻対応に転送先内線収容端子番号を記憶する個人番号情報メモリである。

内線加入者Aが本サービス設定コードをダイヤ

ルし続いて内線加入者Aの個人番号と時刻とその時刻に着信した呼を転送する転送先内線電話番号をダイヤルすると、中央制御装置105は内線電話番号情報メモリ106を制御し、ダイヤルされた転送先内線電話番号から転送先内線電話機101Aの内線収容端子番号を読み出す。次いで中央制御装置105は個人番号情報メモリ107を制御し、ダイヤルされた個人番号と時刻に対応するメモリ領域に先ほど読み出した転送先内線収容端子番号を記憶させる。上記の操作をしり返すことにより内線加入者Aは一日のスケジュールに合わせて、あらかじめ転送先を設定しておく。また途中での個人番号情報メモリの変更も上記操作による。一方、内線加入者Bが内線電話機101Bを使って通話したい相手である内線加入者Aの個人番号をダイヤルすると、中央制御装置105は時計装置108を制御し時刻を読み出すとともに個人番号情報メモリ107を制御し、ダイヤルされた個人番号と読み出した時刻とから該時刻における内線加入者Aの転送先内線電話機101Aの内線収

容端子番号を読み出す。次いで自局内トランク104と内線電話機101A、101Bの通話路スイッチを閉じるように主通話路スイッチ103を制御する。これによって内線加入者Bはライン回路102と自局内トランク104を介して内線加入者Aと接続され通話する。

第2図は第1図に示す内線電話番号情報メモリ106のブロック構成図であり、202はメモリ本体、201はメモリの書き込みあるいは読出しを行なう制御部である。メモリ本体202の内容は制御部201を通して中央制御装置105に読出されるがメモリ本体202は $L_1, L_2 \dots L_n$ と n 個のブロックに分割され各ブロックは内線収容端子番号に対応している。各ブロックには各内線電話番号が記憶されているが、各内線電話番号 $N_1, N_2 \dots N_n$ の書き込みあるいは読出しは前記メモリ制御部201が中央制御装置105の指示により行なう。

また、第3図は第1図に示す個人番号情報メモリ107のブロック構成図であり、302はメモ

り本体、301はメモリの書き込みあるいは読出しを行なう制御部である。メモリ本体302の内容は制御部301を通して中央制御装置105に読出されるが、メモリ本体302は P_1, P_2, \dots, P_m と m 個のブロックに分割されており、各ブロックは内線加入者の個人番号に対応している。各ブロックはさらに t_1, t_2, \dots, t_5 と5個のブロックに分割されており、各ブロックは時刻に対応している。各ブロックには該当する個人番号を有する内線加入者が該当する時刻に居る転送先内線収容端子番号 $Lmt_1, Lmt_2, \dots, Lmt_5$ が記憶される。該転送先内線収容端子番号の書き込みあるいは読出しはメモリ制御部301が中央制御装置105の指示により行なり。

本発明は以上説明したとおり、内線加入者毎に付与した個人番号対応に且つ各時刻対応に内線加入者の転送先内線収容端子番号を記憶するメモリを設け、自動的に各時刻に通話したい相手のいる内線電話機へ接続できるので接続サービス上効率化される。

4. 図面の簡単な説明

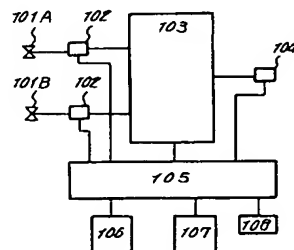
第1図は本発明の一実施例を説明するための中継方式図、第2図は第1図に示す内線電話番号情報メモリのブロック図、第3図は第1図に示す個人番号情報メモリのブロック図である。

101A, 101B……内線電話機、102……ライン回路、103……主通話路スイッチ、104……自局内トランク、105……中央制御装置、106……内線電話番号情報メモリ、107……個人番号情報メモリ、108……時計装置、201……内線電話番号情報メモリのメモリ制御部、202……内線電話番号情報メモリ本体、301……個人番号情報メモリのメモリ制御部、302……個人番号情報メモリ本体。

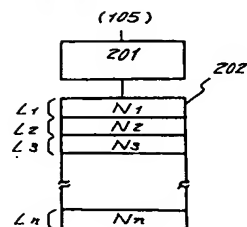
代理人 弁理士 内 原



第 1 図



第 2 図



第 3 図

